

報告事項イ

平成28年度鳥取県特別支援学校技能検定の実施結果について

平成28年度鳥取県特別支援学校技能検定の実施結果について別紙のとおり報告します。

平成28年10月19日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

平成28年度鳥取県特別支援学校技能検定の実施結果について

平成28年10月19日

特別支援教育課

- 1 実施期日 平成28年10月13日(木)・14日(金)  
午前9時50分から午後3時30分まで
- 2 会場 県立琴の浦高等特別支援学校  
689-2501 鳥取県東伯郡琴浦町赤碕1957-1
- 3 参加者 県内特別支援学校高等部生徒64名  
白兔養護学校8名、倉吉養護学校11名、県立米子養護学校9名  
琴の浦高等特別支援学校32名、鳥取大学附属特別支援学校4名
- 4 実施内容 清掃部門・喫茶サービス部門

5 認定者

清掃部門 受検者数42名

- (1) マスター検定(床及び机上清掃) 受検者数13名

1級	2級
11名	2名

- (2) マスター検定(じゅうたん床清掃及びガラス・窓枠清掃) 受検者数8名

1級	2級	3級	6級
4名	2名	1名	1名

- (3) チャレンジ検定(床清掃) 受検者数19名

1級	2級	3級
16名	2名	1名

- (4) チャレンジ検定(じゅうたん床清掃) 受検者数2名

2級	4級
1名	1名

喫茶サービス部門 受検者22名

2級	3級	4級	5級
4名	4名	11名	3名

## 6 審査員長総評

### (1) 清掃部門（照下審査委員長）

生徒の努力が非常によく伝わってきた。掃除は、就職しても職場で必ず行うので、毎日の掃除を大切にして欲しい。級の認定に関わらず、さらに上の級をめざしてほしい。

### (2) 喫茶サービス部門（林審査委員長）

緊張もあったと思うが、日頃の学習の成果が良くわかり感動した。サービスは、相手のことを考えて気持ちを込めて行えば相手に伝わる。検定の級に関わらず、それを大切にしてほしい。また、身だしなみや笑顔など当たり前のことを普段から気を付けて行ってほしい。

## 7 参加生徒の感想

○僕は今年はずっと初めて技能検定に参加しました。参加した理由は少し興味があったからです。でも練習をしていくうちに本気で上の級をねらうようになりました。練習ではコードが幅木にかからないようにすることに気をつけました。（チャレンジ検定 じゅうたん床清掃）

○ぼくが技能検定に出ようとおもったわけは、清掃で1級がほしかったからです。あとは、掃除のやり方をもっと知りたかったからです。当日は練習で清掃中の看板を出し忘れたけど、本番で何も間違えなかったのでよかったです。

（チャレンジ検定 床及び机上清掃）

○私が技能検定でがんばったことは、1・2級を目標に練習をいっぱいがんばったことです。本番はすごくドキドキしたけどなんとかがんばりました。お客さんがきたときは、すごく緊張して思うようにいなくて結果4級になり少しショックでした。実習で喫茶店で働くので検定でやったことがいかせればいいなと思いました。（喫茶サービス部門）

## 8 当日の様子

